



高能率型製粉機

## ホーミル750型

### 取扱説明書



この度は、マルマス製粉機  
“ホーミル750型”をお買上げ頂き  
厚く御礼申し上げます。

ご使用まえには  
取扱説明書を熟読され  
末長くご愛用ください。

なお、不明瞭な点がありましたら  
販売店もしくは当社に  
お問い合わせください。



**警告**

◎この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行ってください。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管してください。

**マルマス機械株式会社**

## 重要なお知らせ



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- ◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。  
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。  
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。  
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあつた場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡ください。



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。  
もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せして回答を得るまで作業を進めないで下さい。

# 目 次

## 1.危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味 .....	1
1-2 本機の仕様にあたっての諸注意 .....	2
1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明 .....	4

## 2.ご使用になるまえに

2-1 本機の構成と名称 .....	6
2-2 製粉装置の構成と名称 .....	7
2-3 本機の設置について .....	8
2-4 仕様 .....	9

## 3.製粉の仕方

3-1 製粉の注意 .....	10
3-2 材料による製粉の仕方 .....	10
3-3 製粉の仕方 .....	11

## 4.各部の調整・点検・掃除

4-1 臼部の名称と掃除分解の方法 .....	12
4-2 電気回路関係 .....	13
4-3 サーマル異常時のリセット方法 .....	14
4-4 ベルトの張り方 .....	15

## 5.不調な時の原因と対策

5-1 不調な時の原因と対策 .....	16
----------------------	----

# 1.危険防止のために

## 1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。  
この警告ラベルでは危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

 <b>危険</b>	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>警告</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>注意</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

### **警告**

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。  
新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)

# 1.危険防止のために

## 1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 <b>注 意</b>	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 <b>警 告</b>	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 <b>警 告</b>	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)
 <b>警 告</b>	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 <b>警 告</b>	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 <b>警 告</b>	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。

## 1.危険防止のために

 <b>注 意</b>	<p>本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。</p>
 <b>注 意</b>	<p>水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 感電・漏電・火災の原因となります。</p>
 <b>注 意</b>	<p>電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>電源プラグの刃(プラグ先端)及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。 火災の原因となります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>
 <b>警 告</b>	<p>電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。 感電・ショート・発煙・発火の原因となります。</p>

※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

# 1.危険防止のために

## 1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明

 <b>警告</b>	<p>危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。</p>
---	---

	<b>ラベルの説明</b>
	<p>タンク内の下部には、回転部があります。運転中にこれらに手で直接接触するとケガをしますので、タンク内の掃除やなんらかの理由で手を入れる時は、必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>(注文コード 260-401-11)</p>
	<b>警告</b>
	<p>点検、修理及び停電の時は、危険防止のため必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>(注文コード 260-411-11)</p>
	<b>注意</b>
	<p>運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。</p> <p>(注文コード 260-433-11)</p>
	<b>警告</b>
	<p>運転中、絶対に粉出口の前カバー下方から手を入れないでください。指に臼の回転部が接触し、ケガをする場合があります。掃除・点検など行う際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。</p> <p>(注文コード 260-414-11)</p>

# 1.危険防止のために

## 1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明

	<b>警告</b>	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	-----------	---



後側

左側

	<b>警告</b>	 <p>運転中はカバーを開けないでください。回転部分に接触するとケガをします。</p>
<b>ラベルの説明</b>		
ラベルを貼ってあるカバーを開けると内に伝動部があります。これらを手で直接触れることが出来、運転中にこれらに接触しますとケガをしますので、カバーを開く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。		
(注文コード 260-400-11)		

	<b>警告</b>	 <p>感電防止の為、カバーを開くときは必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。</p>
<b>ラベルの説明</b>		
図示の電装ボックス内には電装品が収納されております。通電中に接触しますと感電します。運転する場合は必ず電装BOXフタを閉めてください。又、点検・修理などで電装ボックスフタを開ける場合は必ず電源プラグを抜いてください。		
(注文コード 260-412-11)		

## 2.ご使用になるまえに

### 2-1 本機の構成と名称

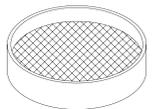


**注意**

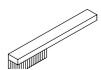
ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。

	名称
1	タンクフタ
2	タイマースイッチ
3	過負荷異常表示ランプ
4	製粉レバー
5	粉シュート
6	タンク
7	側板
8	プラポイントネジ(M4)
9	シャッター
10	右トビラ
11	キャスター
12	主プーリー
13	Vベルト
14	モータ
15	後ろカバー
16	左トビラ
17	モータプーリー

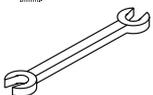
#### 付属品



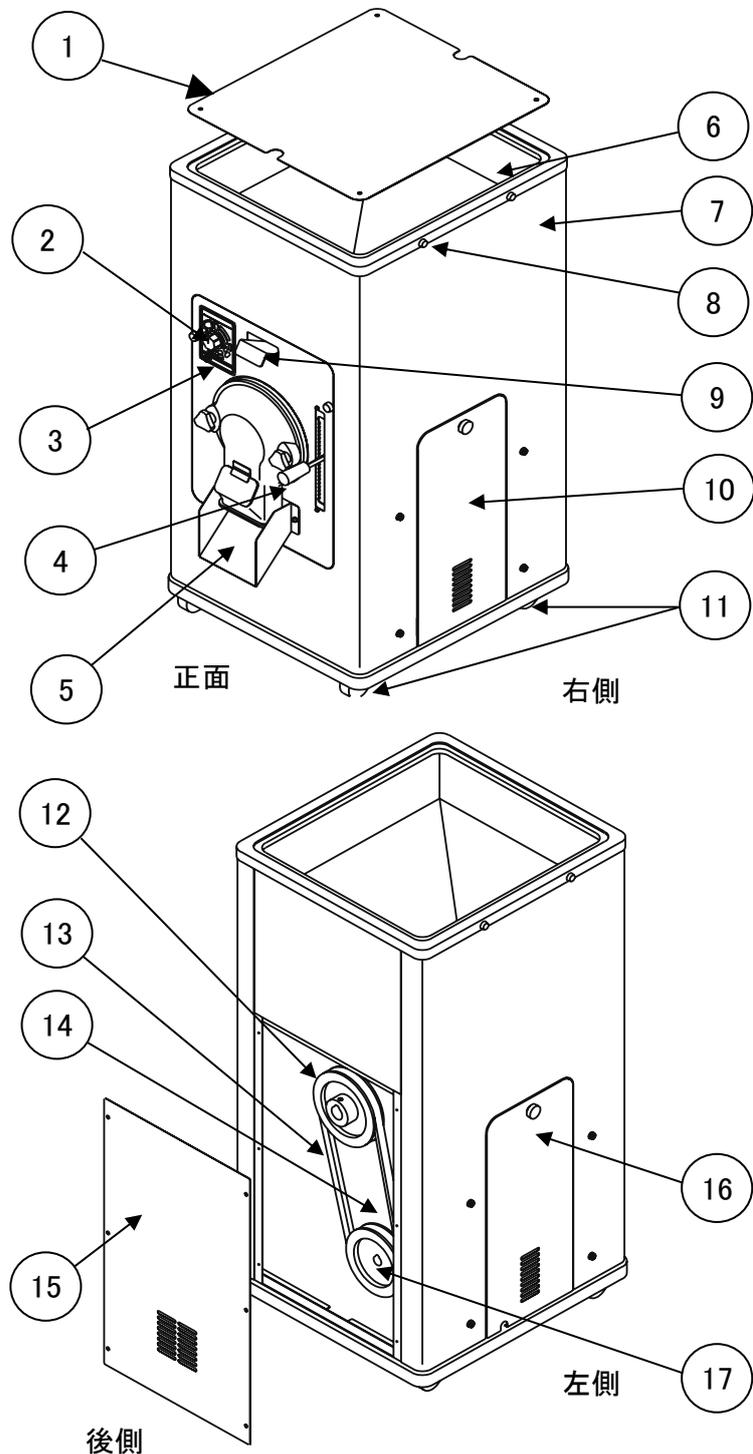
手フルイ(60メッシュ)



ワイヤーブラシ



スパナ (17×19)



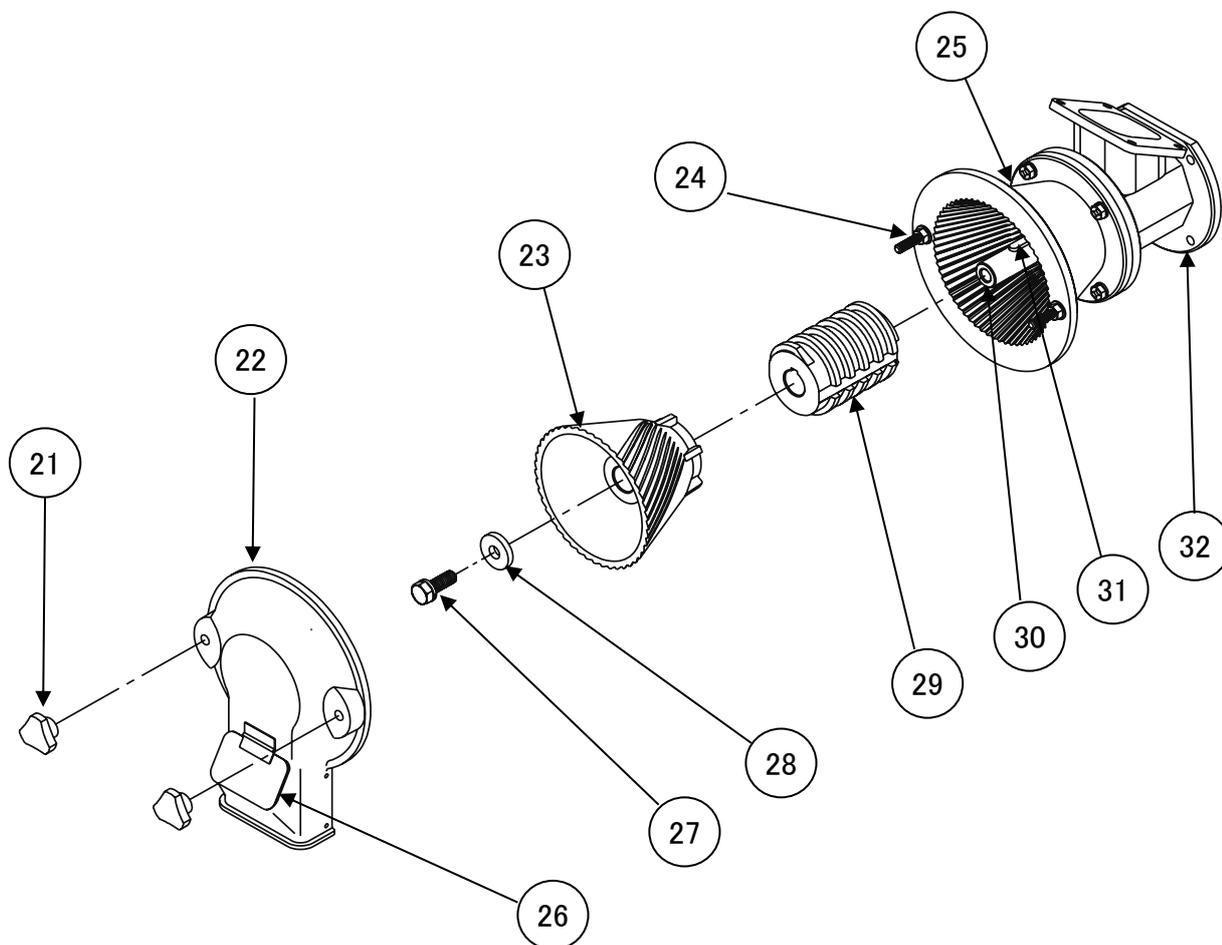
## 2.ご使用になるまえに

### 2-2 製粉装置の構成と名称



#### 注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。



名称	名称
21 ノブナット M8	27 六角ボルト (M12×35)
22 臼前カバー	28 内臼止座金
23 内臼	29 送りロール
24 止ボルト	30 主軸
25 外臼	31 主軸キー(両丸 7×8×40)
26 臼前カバー点検窓	32 本体中部

## 2.ご使用になるまえに

### 2-3 本機の設置について



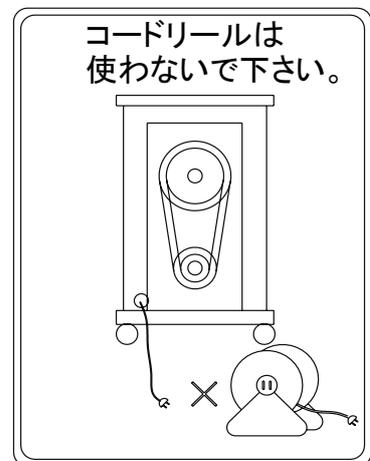
#### 注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。



#### 製粉機の据え付けについて

- 1) 設置場所は湿気の無い所で、水・油等のかからない場所を選んでください。
- 2) 機体が水平になるように設置してください。
- 3) 外部から振動が伝わらないように設置してください。
- 4) 電源(三相200V)は必ず差込コンセントか三相200V動力線に接続してください。  
(照明器具から引いたり、コードリールを使ったり、たこ足配線をしたり絶対にしないでください。運転不能になる場合があります。)
- 5) 消費電力の大きい電気製品との同時使用は避けてください。



#### 回転方向の確認



- 1) 本機の回転方向は機体後部から見て時計回り(右回り)です。必ず矢印の方向に回転していることを確認してください。
  - 2) 逆転しないようにご注意ください。間違って逆転した時は原料が機内に詰まっていますので、詰まりを取り除いてから運転してください。
- ◎ 電源プラグをコンセントから外し、製粉レバーを0(粗粉側)の位置にして、後ろカバーを外してプーリーを持って左右に半回転ずつ動かし、詰まりをほぐしてから再運転してください。

## 2.ご使用になるまえに

### 2-4 仕様



#### 注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱いください。

名称型式	高能率型製粉機 ホーミル750型		
電源	三相200V 50/60Hz		
モータ	ギヤードモータ 0.75kW		
本体寸法	幅 454mm × 奥行 494mm × 高さ 956mm		
重量	74kg		
タンク容量	36ℓ (2斗)		
能率		挽き割り/毎時	製粉/毎時
	精白米	60～80kg	25～35kg

※製粉は原料の産地、品種により毎時製粉能率が異なります。

## 3.製粉の仕方



### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って、作業を行ってください。  
作業するには身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

### 3-1 製粉の注意



- 1) 初めてお使いになる時、最初に製粉材料と臼の粉塵が混ざり排出される粉が若干変色する場合があります。購入直後は、必ずならし運転として若干の製粉作業を行ってから、本作業に移ってください。
- 2) どんな材料の場合でも、十分乾燥させてください。
- 3) わらくず、ごみ、小石等の雑物は取り除いてください。
- 4) 挽き割りは、製粉レバー位置を粗粉側で必要な粗さの位置にしてください。
- 5) 製粉材料を製粉し、そのまま再製粉されますと焼きついたり、詰まる事がありますので、一回ごとにフルイ分けして再製粉してください。  
(再製粉はフルイ目50～60メッシュよりも粗い粉とします。)

### 3-2 材料による製粉の仕方

材料	シャッター	製粉レバー	要点
米類	全開	7～8	精白米は洗米して十分に乾燥させると、いっそう粉になりやすくなります。

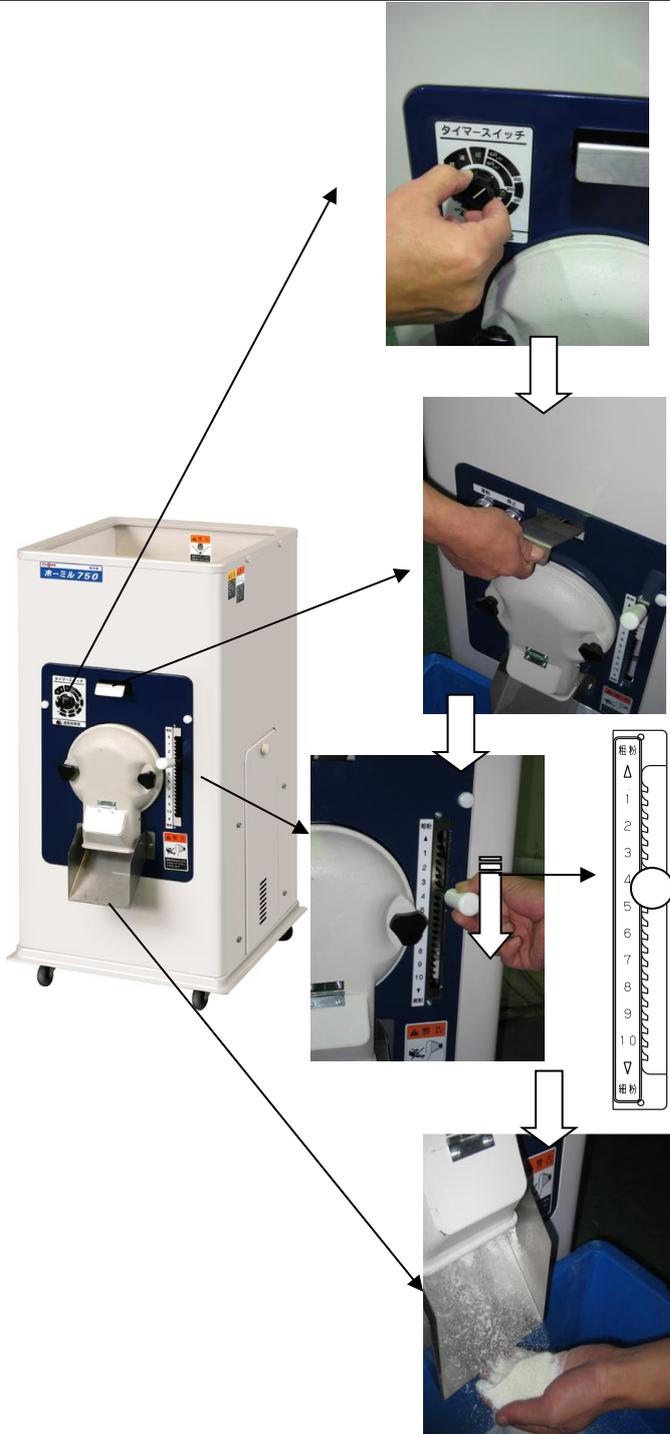
## 3.製粉の仕方

### 3-3 製粉の仕方



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って、作業を行ってください。  
作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。  
製粉される場所は出来るだけ湿気の少ない所で行ってください。



① タンクに材料を入れる前に、シャッターを閉じ、製粉レバー

② タンクに材料を入れてください。

③ タイマースイッチ(お好みの時間又は連続)を入れて運転させてください。

④ シャッターを全開にしてください。

⑤ 製粉レバーをお好みの粉になるまでゆっくり下げてください。初め粗い粉が出ますので、タンクに戻してください。

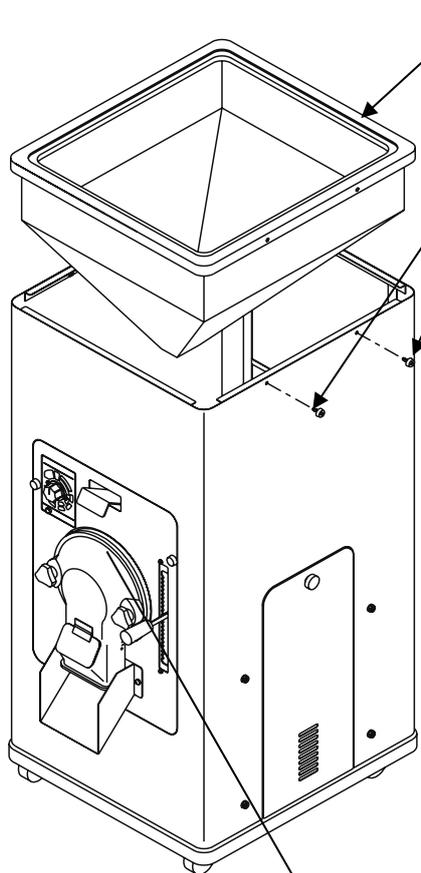
注意: 製粉レバーを下げすぎると詰まる事があります。

⑥ 製粉が終わりましたら、製粉レバーを粗粉側に上げ、シャッターを閉じタイマースイッチを切ってください。

注意: 使い終わった後は必ず掃除をしてください。

## 4.各部の調整・点検・掃除

### 4-1 臼部の名称と掃除分解の方法



タンク

プラポイントネジ

◎ 下記に示す手順で掃除分解を行ってください。

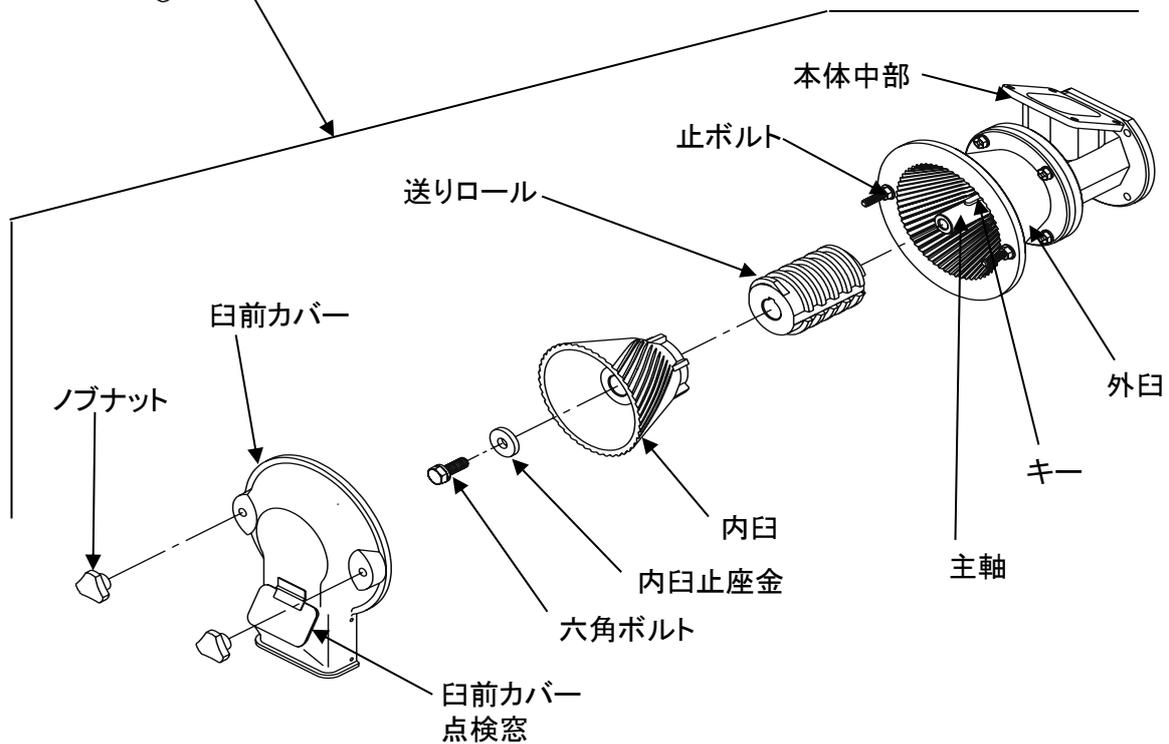
- 1) 電源プラグをコンセントから抜いてから  
ノブナットを2個外し、臼前カバーを取り外します。
- 2) 内臼中心の六角ボルトを外し、内臼と送りロール  
を引き抜きます。
- 3) 臼内部に残っている粉や残物を取り除き、  
内臼、外臼の目をブラシで掃除してください。
- 4) 掃除が終わりましたら、分解の逆の順序で  
組立を行ってください。

※ 側板上方にあるプラポイントネジを外し、タンクを  
上方に引き上げ、外すと内部の掃除も安易に  
行うことができます。



注意

… 外臼は通常外さないでください。



本体中部

止ボルト

送りロール

外臼

キー

主軸

内臼

内臼止座金

六角ボルト

臼前カバー

ノブナット

臼前カバー  
点検窓

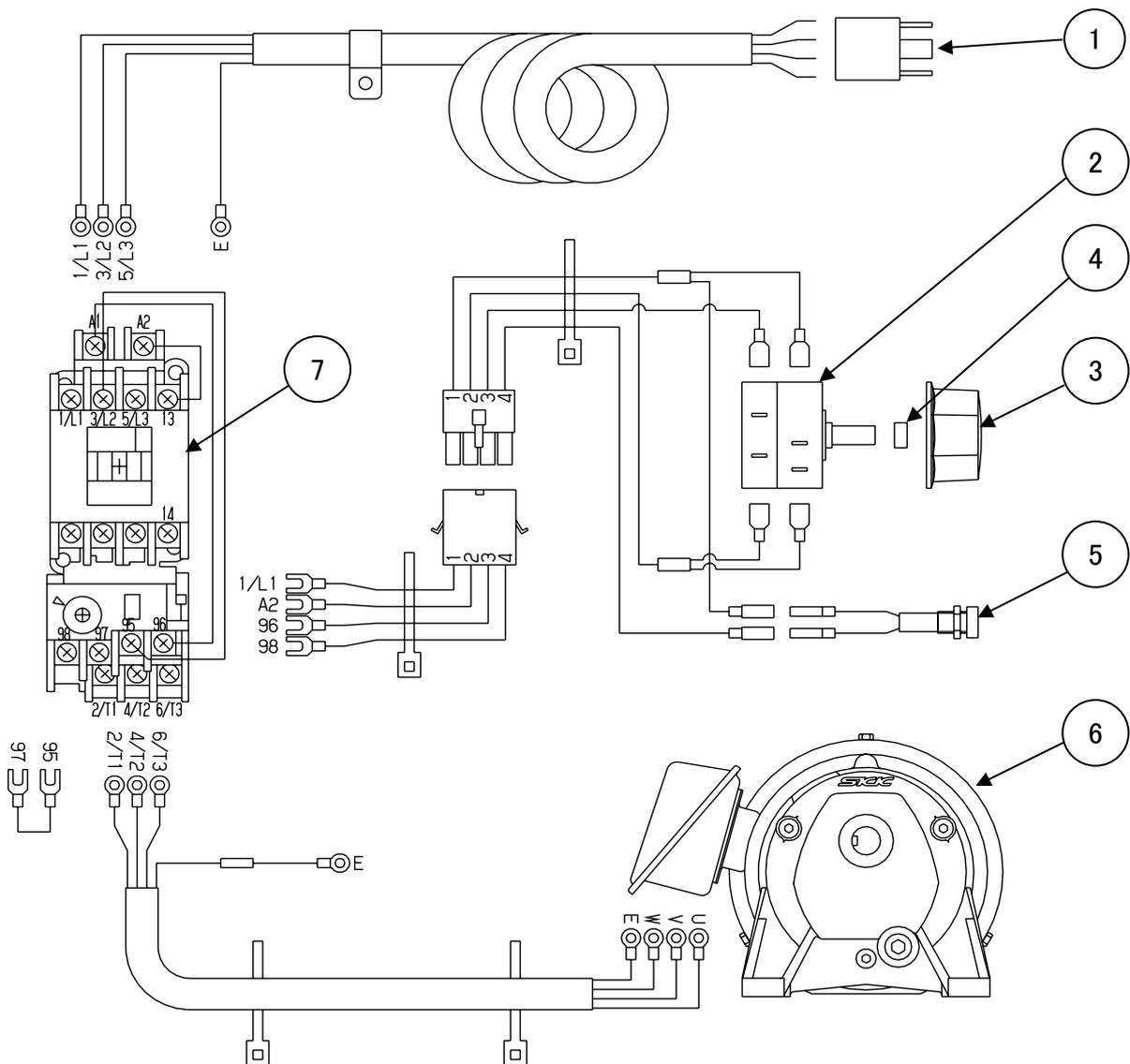
## 4.各部の調整・点検・掃除

### 4-2 電気回路関係



**警告**

点検・掃除・作業を行う場合及び製粉作業終了後は、必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。安全上支障をきたす場合があります。



	名称		名称
1	電源プラグ	5	過負荷異常表示ランプ
2	タイマー(60分)	6	ギヤードモータ(0.75kW)
3	タイマーつまみ	7	電磁開閉器
4	タイマーカラー		

## 4.各部の調整・点検・掃除

### 4-3 サーマル異常時のリセット方法



**警告**

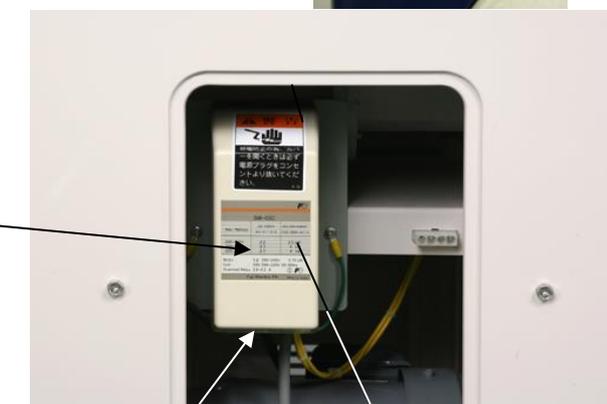
点検・掃除・作業を行う場合及び製粉作業終了後は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントより抜いて作業を行ってください。

- ◎下記に示す手順でサーマルのリセットを行ってください。  
◇ 運転中に詰まり、過負荷異常表示ランプが点灯した場合原因を取り除き、下記の通りにサーマル異常をリセットしてください。



後側

過負荷異常表示ランプ



止めビス

左側



<電磁開閉器>

サーマルリセットボタン

- 1) タイマースイッチを『切』にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2) 左側面の扉を開けてください。
- 3) 電装ボックスがあるので、止めビスを外してカバーを外します。
- 4) 電磁開閉器の白いスイッチを奥まで押し込むとサーマル異常がリセットされます。
- 5) 外したカバーを取り付け、止めビスで固定して下さい。
- 6) 左側面の扉を取り付けてください。

## 4.各部の調整・点検・掃除

### 4-4 ベルトの張り方



#### 警告

点検・掃除・作業を行う場合及び製粉作業終了後は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントより抜いて作業を行ってください。

◎ 以下に示す手順でベルトを張ってください。

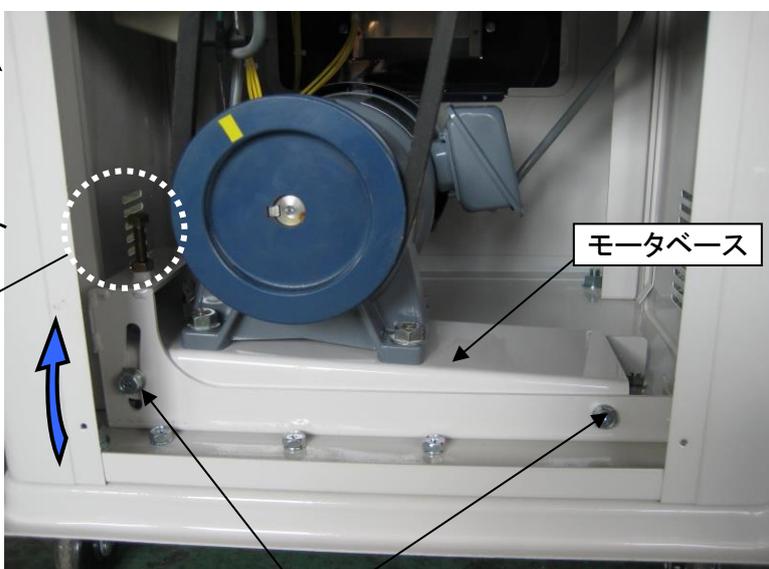
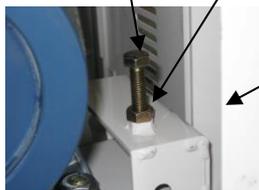


- ① 後カバーと右トビラ、左トビラを外してください。
- ② モーターベース固定ボルト(4個)と固定ナットを緩めてください。
- ③ 張り用ボルトを時計回りに回して、Vベルトの張りが適度になるように、モーターベースを押し込んでください。
- ④ Vベルトが適度な張りになったら、モーターベース固定ボルト(4個)と固定ナットを締めてください。
- ⑤ 後カバーと右トビラ、左トビラを取り付けてください。

張り用ボルト

固定ナット

モーターベース



モーターベース固定ボルト(反対面にもあります)

## 5.不調な時の原因と対策

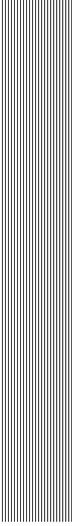
### 5-1 不調な時の原因と対策



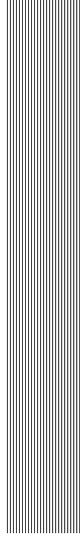
**警告**

点検・掃除・作業を行う場合及び精米作業終了後は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。

状 態	原 因	対 策
タイマースイッチを入れても動かない	電気がきていない	電源及び配線を確認してください
	製粉機のサーマルが働いている	原因を取り除き、サーマルをリセットしてください
粉にならない	製粉レバーの調節	製粉レバーを下げ、抵抗を強くしてください
	臼に粉が焼きついている	分解してワイヤーブラシ等で掃除してください
	材料が乾燥不良で湿っている	天日乾しなどで十分に乾燥させてください
製粉機のブレーカー(サーマル)が働く	製粉レバーが強い	製粉レバーを上げ、抵抗を弱くしてください
	外臼と内臼が粉で焼きついている	分解してワイヤーブラシ等で掃除してください
		製粉レバーを上げ、抵抗を弱くしてください
		製粉材料が無くなったら、製粉レバーを粗粉側にして、臼の接触を無くしてください
	他の三相モーター付きの機械や電熱器が働いている	消費電力の大きい電気製品との同時使用は避けてください
配線が不適正	適正配線されたコンセントへ直接プラグを接続してください	



# 保証規定



## 1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。  
但し業務用は3ヶ月といたします。  
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

## 2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認められた場合に限り、弊社特約販売店または指定サービス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料で行います。

## 3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。  
(1)使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。

- (2)弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
- (3)弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (4)弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (5)弊社特約販売店、または弊社指定サービス工場以外で修理され、故障した場合。
- (6)故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレーム判定完了まで保管して下さい。)
- (7)本書のご提示がない場合。
- (8)本書に、購入日(年月日)・購入先(販売店名及び農協名)の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成	年	月	日
購入先 (販売店及び農協)				



◎この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

●お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

## マルマス機械株式会社

本社・工場 富山県中新川郡上市町若杉2  
新潟工場 新潟県燕市小池5212-3  
札幌出張所 札幌市北区篠路2条5-16-17  
関東出張所 埼玉県羽生市上新郷6137-21  
広島出張所 広島市安佐南区西原2丁目24-26  
福岡出張所 福岡市東区和白丘1丁目7番3号  
熊本出張所 熊本市富合町廻江846-1  
<ホームページ> <http://www.marumasu.co.jp>

TEL 076-472-2233(代)  
TEL 0256-66-2411~2  
TEL 011-771-5357  
TEL・FAX 0485-61-1566  
TEL・FAX 082-573-7857  
TEL・FAX 092-606-3293  
TEL・FAX 096-320-4973  
<e-mail> [mill\\_star@marumasu.co.jp](mailto:mill_star@marumasu.co.jp)